

WILL

DOWP (Design Oriented Web Programming)

株式会社ウィル

2001年5月17日作成

目次

1. Web開発の現状と問題
2. DOWP (Design Oriented Web Programming)
3. DOWPの特徴
4. デザインとプログラムの完全分離
5. ソースコードを自動生成
6. DOWPの動作原理
7. DOWPによる開発工程(案)
8. DOWPのメリット
9. DOWPの可能性
10. 仕様
11. ライセンス体系及び価格
12. 販売計画

1. Web開発の現状と問題

① ニーズの増加と評価の厳格化

- 企業内LANの普及などに伴う既存システムのネットワーク化など、Webアプリケーションの需要は昨今非常に高まっています。同時にエンドユーザの中には「Webアプリケーションは見た目がすべて」と思われる方もおり、Webアプリケーションならではの問題(デザインへの厳しい評価)も発生しています。

② 仕様変更の煩わしさ

- 開発者は仕様変更や納品後のメンテナンスで大変苦労されていると思います。これはプログラムとデザインが交互に入り混じる見通しの悪いソースコードから該当箇所を探し当てるのが非常に困難であったり、デザイン変更には必ずプログラム変更を伴うため思わぬバグを埋め込んでしまう恐れがあるためと思われれます。

③ 開発領域の不明瞭さ

- そもそもデザイン変更はプログラマーの本分なのではないでしょうか？ エンドユーザも簡単なHTMLの修正ならば自分で行いたいのではないのでしょうか？ 同じことがデザイナーにも当てはまります。この問題の原因はプログラムとデザインが同一のファイルにあり、デザイン修正にプログラムの理解が不可欠であることと思われれます。

2. DOWP

(Design Oriented Web Programming)

① 概要

- Webアプリケーションにおけるデザインの役割を重視し、プログラムとデザインの柔軟な融合を図る開発手法です。

② 効用

- プログラミングの効率化とWebアプリケーションの付加価値向上が可能となります。

3. DOWPの特徴

① デザインとプログラムの完全分離

- Webアプリケーションの動的部分(プログラム)と静的部分(デザイン)を完全分離し、2つのファイルで表現できます。

② ソースコードを自動生成

- 商品に添付される独自の開発ツール(SDK)によりソースコードの一部を自動生成することができます。

4. デザインとプログラムの完全分離 (その1)～従来のプログラム～

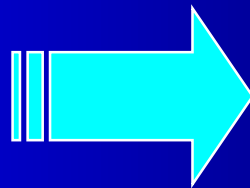
プログラムとデザインが混在

例) ASP

VBScript + HTML

```
1/11
Set GblConn = Server.CreateObject("ADODB.Connection")
GblConn.ConnectionString = "Provider=SQLEXP;Data Source=msd1;
GblConn.Open
Set rec1 = Server.CreateObject("ADODB.Recordset")
sql = "SELECT * FROM SHOHIN_MT WHERE ITEM_FLG='0'"
rec1.Open sql, GblConn
IF Not rec1.EOF Then
  Do While Not rec1.EOF
    <tr>
      <td align="center" class="stxt">
      <td align="center" class="stxt">
      <td align="center" class="stxt">
      <td align="center" class="stxt">
    </tr>
    rec1.MoveNext
  Loop
End If
rec1.Close
Set rec1 = Nothing
GblConn.Close
Set GblConn = Nothing

</table>
</tr>
</table>
```



出力結果

品ID	品名	価格	発行日
1	TOPPOCK/シングルPCライセンス	89000	2001/02/21 19:02:34
7	UCROCK/シングルPCライセンス	85000	2001/02/21 19:02:40
12	FTPBRVROCK/シングルPCライセンス	89000	2001/02/21 19:04:29
17	FTROCK/シングルPCライセンス	66000	2001/02/21 19:05:17
22	NALROCK/シングルPCライセンス	48000	2001/02/21 19:06:00
27	KANROCK/シングルPCライセンス	48000	2001/02/21 19:07:17
32	MNROCK/シングルPCライセンス	48000	2001/02/21 19:08:00
37	STRROCK/シングルPCライセンス	102000	2001/02/21 19:09:40
42	POCK/シングルPCライセンス	79000	2001/02/21 19:08:17
47	SHROCK/シングルPCライセンス	24000	2001/02/21 19:10:22
52	Har-Gear/シングルPCライセンス	0	2001/02/21 19:11:20
57	Net-PAD/シングルPCライセンス/マルチメディア	3000	2001/02/21 19:09:21
59	パソコン用キーボード/シングルPCライセンス	346000	2001/02/21 19:00:24

4. デザインとプログラムの完全分離 (その2)～DOWP利用のケース～

プログラムとHTMLを分離

例) ASP



```
Dim objConn As ADODB.Connection
Dim objRS As ADODB.Recordset

objConn.Open "Provider=Microsoft.Jet.OLEDB.4.0;Data Source=C:\inetpub\wwwroot\data\customer.mdb"
objRS.Open "select * from customer"

Do While objRS.EOF = False
    List.Add objRS.Fields("name") & "<br>"
    objRS.MoveNext
Loop

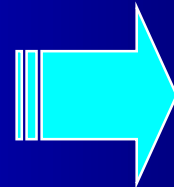
objConn.Close
objRS.Close
```

VBScript

HTML



```
<table border="1">
<tr>
<th>No.</th>
<th>Name</th>
</tr>
<tr>
<td>1</td>
<td>TOSHIOKO ONO</td>
</tr>
<tr>
<td>2</td>
<td>SHIROKO ONO</td>
</tr>
<tr>
<td>3</td>
<td>HIROYUKI ONO</td>
</tr>
<tr>
<td>4</td>
<td>ETSUKO ONO</td>
</tr>
<tr>
<td>5</td>
<td>NAOKO ONO</td>
</tr>
<tr>
<td>6</td>
<td>SHIROKO ONO</td>
</tr>
<tr>
<td>7</td>
<td>SHIROKO ONO</td>
</tr>
<tr>
<td>8</td>
<td>SHIROKO ONO</td>
</tr>
<tr>
<td>9</td>
<td>SHIROKO ONO</td>
</tr>
<tr>
<td>10</td>
<td>SHIROKO ONO</td>
</tr>
</table>
```



出力結果



No.	Name	Sex	Age
1	TOSHIOKO ONO	F	34
2	SHIROKO ONO	F	40
3	HIROYUKI ONO	M	29
4	ETSUKO ONO	F	47
5	NAOKO ONO	F	30
6	SHIROKO ONO	F	37
7	SHIROKO ONO	F	37
8	SHIROKO ONO	F	36
9	SHIROKO ONO	F	47
10	SHIROKO ONO	F	36

4. デザインとプログラムの完全分離 (その3)～DOWPの応用～

同一プログラムで2つのHTMLを出力

HTMLファイル

出力結果

デザインA



同一プログラムで表示が可能



デザインB



5. ソースコードを自動生成 (その1)～ DOWPタグとDOWP変数～

① DOWPタグ

- HTMLタグの(1)繰り返し表示、(2)条件により表示・非表示、する部分を指定します。
- タグの構文→HTMLのコメントを利用したコード規則

```
<!--DOWP:HtmlPart _Key="[ タグ名 ]" _POSTION="START"-->  
    (通常のHTMLタグ)  
<!--DOWP:HtmlPart _Key="[ タグ名 ]" _POSTION="END"-->
```

② DOWP変数

- HTML中の動的にデータを表示したい部分を指定します。
- 変数の定義方法→中括弧({})で括ります。

```
{ [ 定義名 ] }
```

5. ソースコードを自動生成 (その2)～ソースコードの生成手順～

STEP1



HTMLによるデザインでループ表現できる部分は1ループ分のデザインを残し削除する。

※上記の例は商品一覧を表示するものです。1つの商品分のデザイン以外を削除しています。

STEP2



専用ツール「DOWPエディタ」を利用してDOWPタグとDOWP変数を挿入します。

※上記の例は“商品ID”、“商品名”、“価格”、“登録日”というフィールドを“{ITEM_ID}”、“{ITEM_KJ}”、“{ITEM_PRICE}”、“{REGIST_DT}”というDOWP変数に置き換えています。

STEP3



専用ツール「ソースウィザード」を起動します。ここで“VBScript”や“Perl”といったテンプレートの言語を選択します。

※上記例では“VBScript”を選択しています。

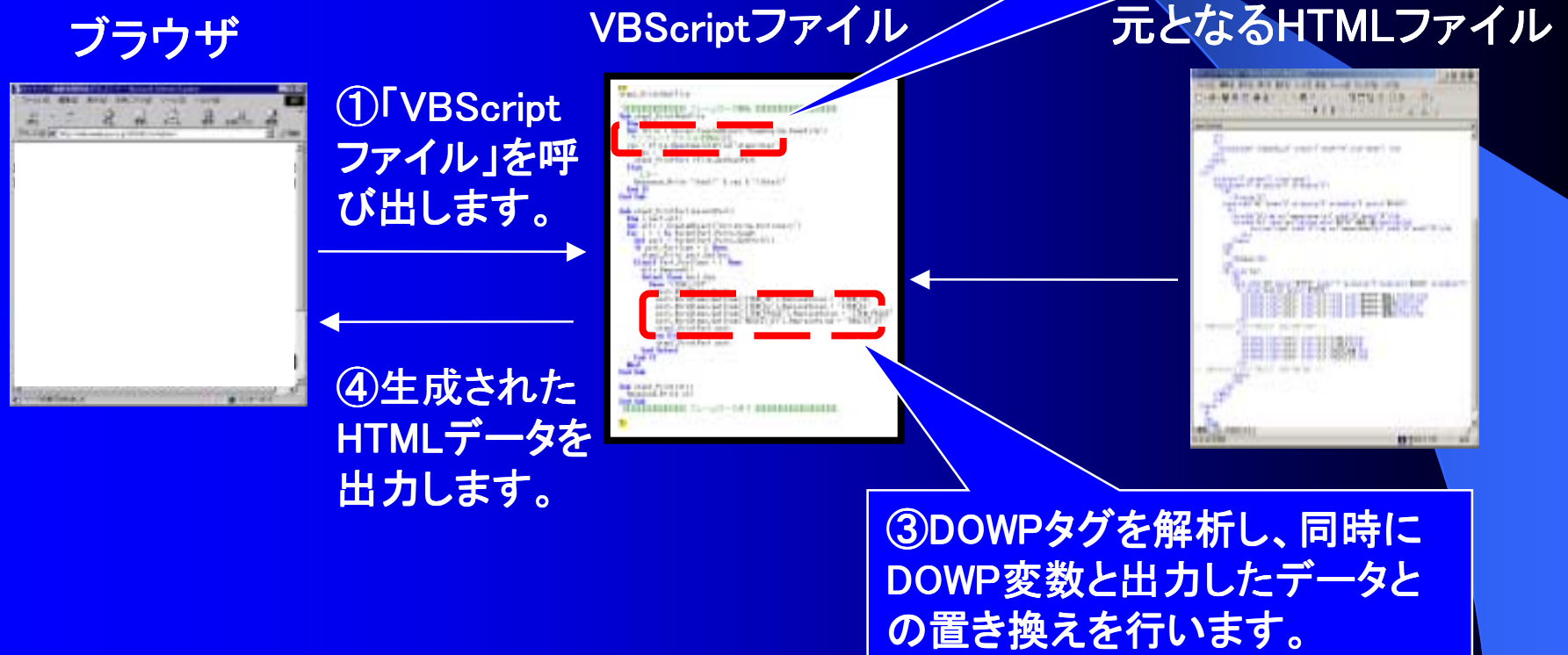
STEP4



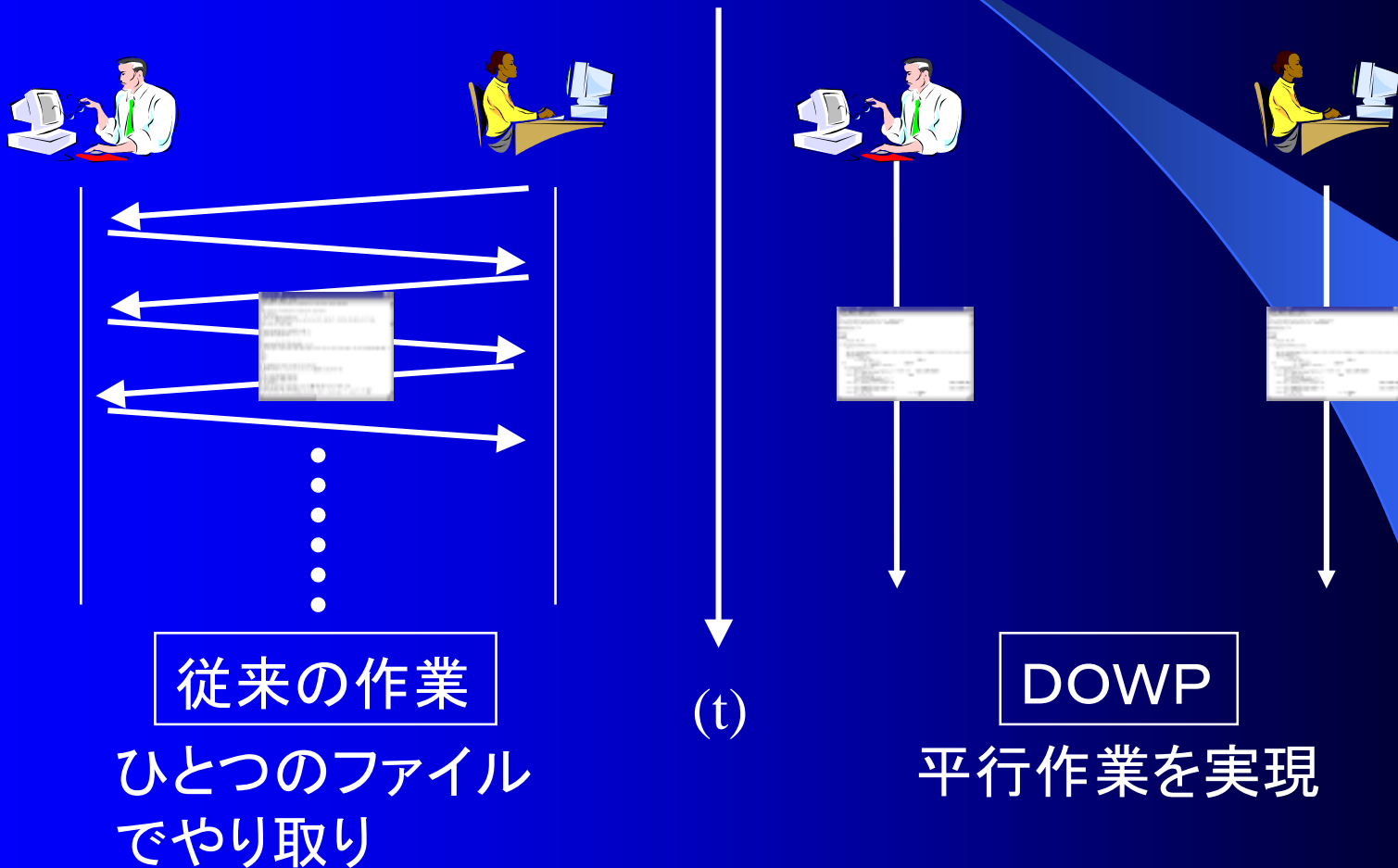
ソースコードが生成されます。生成されたコードはそのままファイルとして保存するか、またはコピー&ペーストで既存ファイルに貼り付けて利用します。

6. DOWPの動作原理

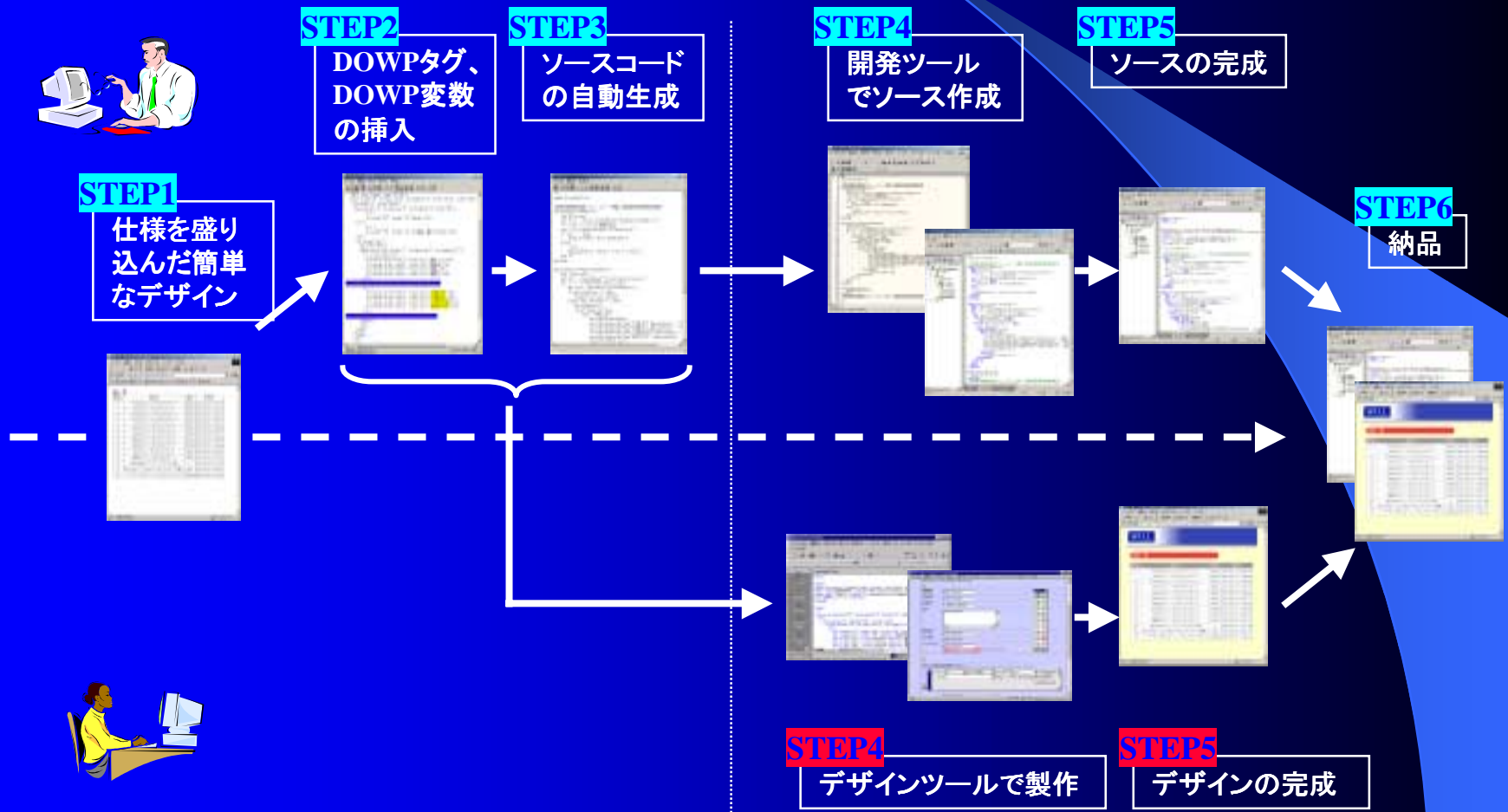
例) ASP



7. DOWPによる開発工程(案) (その1)～概要～



7. DOWPによる開発工程(案) (その2)～詳細～



8. DOWPのメリット

① プログラマーにとっては・・・

- ソースコードウィザードにより、HTML出力に関するほとんどのプログラムが生成されるため、**全体のコーディング量が減少**します。
- 開発途中の仕様変更や運用後のメンテナンス、リニューアルに対する**負担を大きく軽減**します。
- コーディングスタイルのパターン化により、**ソースコードの再利用**を目指すことも可能です。

② デザイナーにとっては・・・

- DreamWeaverやFrontPageといったデザインツールもファイルにプログラムを含まないことから、**その機能をフルに活用**することが可能となります。
- デザイナーは多種存在するプログラム言語を理解する必要は**全くありません**。
- デザイン工程はプログラムの進捗に縛られず、**独自に進める**ことが可能です。

9. DOWPの可能性

① 競争力の向上

- 作業工程の効率化により開発コストを低減することが可能となり、価格競争力も向上します。

② 顧客満足度の向上

- 「動くアプリケーション + デザイン力」による商品力を最大限まで高め、顧客の満足度の向上も図られます。

10. 仕様

動作環境

– DOWPエンジン

- WindowsNTの場合：ASP
- Linuxの場合：Perl (※Perl5のみ対応)
※JAVA、PHPにも今後対応予定

– DOWP SDK

- WindowsNT 4.0 (IIS4.0以上)
- Windows2000 (IIS5.0以上)

11. ライセンス体系及び価格

1. 開発ライセンス (¥ 800,000)

- DOWPを用いて開発を行うためのライセンス。
※実際の開発する際にはさらにサーバライセンスまたはランタイムライセンスが必要です。

2. サーバライセンス (¥ 200,000)

- DOWPを用いたアプリケーションの運用を行うためのサーバライセンス。
※ ライセンスはWINDOWS DLL版、Perl版があります。
※ 異なる種類へのライセンスの交換はできません。
※ 譲渡はできません。

3. ランタイムフリーライセンス (¥ 2,000,000)

- 配布先及び配布数量による制限なく、開発したアプリケーションとともにDOWPを配布するためのライセンス。

4. 追加ライセンス (¥50,000)

- 開発者1人分のSDKライセンス。
- 開発ライセンスをお持ちの方のみ購入可能。

5. 期限付開発ライセンス (¥400,000)

- 有効期限1年間の開発ライセンス。更新時は(¥200,000)

12. 販売計画

製品リリース日

- 開発環境展(2001/6/27~2001/6/29)より一般公開

販売形態

- 弊社直販または協力販売会社